

ハブラシだけでは隣接面のプラークが落とすきれえません。 フロスを併用することで、効果的に除去できます。

評価法



1

歯の模型に赤色の人工プラークを塗布。



2

ハブラシで歯を頬側と舌側からブラッシングします。



3

一見キレイになったように見えますが…。



4

歯を抜いて隣接面を見みると、思いのほか多くのプラークが残っています。

模型の歯に人工プラークをつけた評価法により確認されました。*

ハブラシで磨いただけの場合



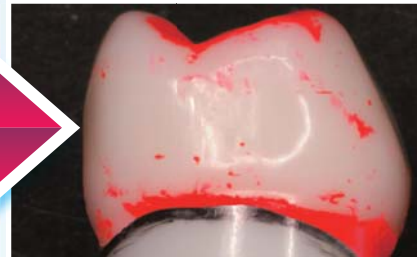
プラーク除去率 **35.0%**



ハブラシ+ウルトラフロス使用の場合



プラーク除去率 **83.4%**



〈※参考〉

隣接面のプラークコントロールに関する研究
鶴見大学歯学部保存修復学講座 大塚良子, 中野正寛, 植松裕美, 桃井保子ほか
(日本歯科保存学会学術大会 137-141回 2012-2014年)

お子様からご高齢の方まで歯間の狭い方に プラークの除去効果が高く、使いやすい「**ウルトラフロス**」をおすすめください!

1 挿入

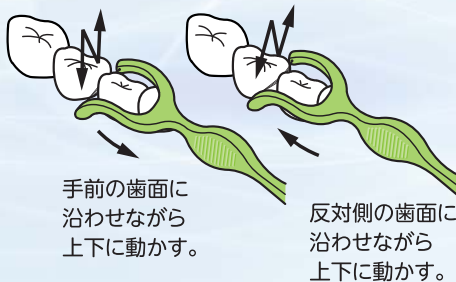
狭くてフロスが通りにくいところは、横にゆっくりスライドさせながら挿入しましょう。



※強い力でまっすぐに挿入しようとすると、歯ぐきを傷つけることがあります。

2 歯面の清掃

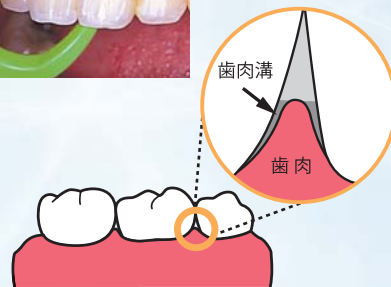
隣り合った歯を1歯ずつ、フロスを歯面に沿わせながら上下に動かし、プラークをこすり取ります。



※必ず歯間の両歯面を清掃しましょう。

3 歯肉溝の清掃

隣接面の境目にある溝(歯肉溝)の中のプラークを、歯ぐきを傷つけないようにこすり取ります。



DENT.EXウルトラフロスは、 水洗いして繰り返し使えます。

